平成２２年度企画事業

体験航海セミナー実施報告書

【趣　　旨】海に関する職業に関心を持つ青少年が，広島商船高等専門学校の練習船等での航海体験・船員体験を通して，働くことの意義を考える。また，瀬戸内海の海運や環境について学び，海や船舶に関する知識や技能を深める。

【主　　催】独立行政法人国立青少年教育振興機構　国立江田島青少年交流の家

【共　　催】独立行政法人国立高等専門学校機構　国立広島商船高等専門学校

【期　　日】平成２２年８月６日（金）～８日（日）

【会　　場】国立広島商船高等専門学校及び瀬戸内海海域

【参加者数】１３人（高校生１人・中学生９人，小学生３人）

【内容及び講師】

（１）【講義Ⅰ】「航海にあたって」
　　国立広島商船高等専門学校　練習船「広島丸」　一等航海士　清田　耕司

（２）【講義Ⅱ】「船を造る」
　　広島県立大崎海星高校　教　　諭　中村　秀樹
　　教　　諭　中土井昭司

（３）【講義Ⅲ】「夢の船出」　一等機関士　藤井　　誠

（４）【講義Ⅳ】「国立広島商船高等専門学校で学ぼう」（学校体験プログラム）
　　国立広島商船高等専門学校　商船学科　教　　授　中島　邦廣

（５）【実習Ⅰ】「操舵」「ロープワーク」「ワークショップ」
　　国立広島商船高等専門学校　練習船「広島丸」　船　　長　大橋　孝治
　　機　関　長　茶園　敏文
　　一等航海士　清田　耕司
　　一等機関士　藤井　　誠
　　有限会社ウィット　写　真　家　脇山　　功

（６）【実習Ⅱ】「保安応急法」「救命講習」「防火講習」
　　国立広島商船高等専門学校　練習船「広島丸」　乗　組　員

（７）【実習Ⅲ】「シーカヤック体験（海を知る活動）」
　　国立広島商船高等専門学校　練習船「広島丸」　一等航海士　清田　耕司

【日　　程】

日程						11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
８月６日（金）	宇品港から広島商船まで，広島丸で *湾内クルーズ！！*					受付	開会行事・出航	講義Ⅰ「航海にあたって」	実習Ⅰ 操舵 ロープワーク ワークショップ		入港見学	夕食	シャワー ベッド メーキング	交流のつどい	講義Ⅱ「船を造る」	ふりかえり	点呼・就寝（船内泊）

日程	6:30	7:30	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	23:00
８月７日（土）	起床 点呼 体操 掃除	朝食	海洋調査		実習Ⅱ 保安応急法 救命講習 防火講習		弁当	実習Ⅲ シーカヤック体験（海を知る活動）		ふりかえり シャワー		夕食	講義Ⅲ「夢の船出」	グループ活動 天体観測	ふりかえり	交流会	点呼・就寝（船内泊）

日程	6:30	7:30	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
８月８日（日）	起床 点呼 体操 掃除	朝食	講義Ⅳ 国立広島商船で学ぼう（学校体験プログラム）		全体発表会	下船準備	昼食 閉会行事	下船・解散

お帰りは，竹原から広島まで，バス「かぐや姫号」などで。

【企画・運営のポイント】

（１）　海に関する職業に関心を持たせるために，海や船舶に関する知識や技能を深めるための講義と，様々な体験活動を通して実体験としての感動が得られる実習とを取り入れた。

（２）　参加のしやすさを考えて，交通の便が比較的良い広島港を集合場所とした。

（３）　参加者が練習船内で安心して生活できるように，広島商船高等専門学校の学生にボランティアとして関わってもらった。

【活動の実際】

◇８月６日（金）

広島商船高等専門学校の練習船「広島丸」に乗り航海体験を行った。実際に操舵や監視活動をしたり，海上の気象観測をしたりすることによって，船を動かすにはたくさんの人が役割を分担し関わりあっているということを学んだ。

夜の講義「船を造る」では，造船所での様子や船の構造・材料などを通じて，造船業についての理解を深めた。

（操舵体験）

（ロープワーク）

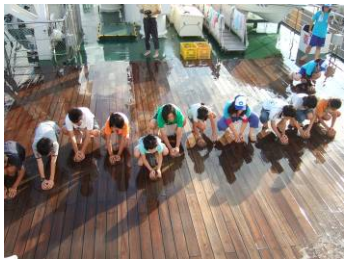
（ワークショップ）

（講義「船を造る」）

◇８月７日（土）

午前の海洋調査では，水の透明度を調べたり薬品を使って目に見えない汚れを測定したりして海の環境への関心を高めた。午後の実習「シーカヤック体験～海を知る活動～」では、シーカヤックに乗り，瀬戸内の海の様子，水質のきれいな海で見ることの出来る※指標生物であるアマモを観察することを通して，海の環境について学んだ。

（※指標生物：生育している地域の環境条件の判定に用いられる生物種または群集　三省堂大辞林より）



（甲板みがき）

（海洋調査）

（防火講習）

（保安応急法・救命講習）

（シーカヤック体験）

（講話「夢の船出」）

◇８月８日（日）

広島商船高等専門学校の商船学科教授による講義を受講し，学校で行われている授業の様子を知ることができた。その後，全体発表会を行い，全員が体験航海セミナーを通じて感じたことや考えたことなどを発表しあった。

（広島商船高等専門学校での講義）

（私の体験航海の全体発表会）

（開会行事）

【成果とその普及】

○実施後，将来の夢や職業・仕事に対する関心や意欲が高まった。

（アンケートより）

１１人中９人（８２％）が大いに高まった，もしくは高まったと回答

「保安救急法で習ったことを生かして，救命関係の仕事に就きたい。」「夢を信じてこれから進路を決めていきたい。」といった意見があった。

○実施後，海や船舶についての知識や技能が深まった。

（アンケートより）

１１人中９人（８２％）が大いに深まった，もしくは深まったと回答

「船の構造や造り方が分かった。」「ロープワークや操舵が分かった。」「アマモのことが分かった」という意見があった。

○広島商船高等専門学校と連携することで，日ごろできない体験をしたり海や船舶に関する専門的な知識を得たりすることができた。

○昨年度のセミナー参加者が広島商船高等専門学校に進学した後も，今年度の江田島青少年交流の家の企画事業に参加して，先輩としてリーダーシップを発揮しながら活動した。

○「船を造る」と題して行った広島県立大崎海星高校の先生による講義では，視聴覚教材を利用して小学生にも分かりやすく教えてくださったことが，知識を深める上でも効果が高かった。

○広島港を集合場所とすることにより，広島県西部地域からの参加がみられた。